

平成26年白老町議会広報広聴常任委員会会議録

平成26年12月 5日(金曜日)

開 会 午前 10時46分

閉 会 午前 11時13分

---

○会議に付した事件

1. 議会懇談会のまとめ
- 

○出席委員(13名)

委員長	氏家裕治君	副委員長	斎藤征信君
委員	吉田和子君	委員	大淵紀夫君
委員	松田謙吾君	委員	西田祐子君
委員	広地紀彰君	委員	吉谷一孝君
委員	小西秀延君	委員	山田和子君
委員	本間広朗君	委員	前田博之君
委員	及川保君		

---

○欠席委員(1名)

議長 山本浩平君

---

○職務のため出席した事務局職員

主	幹	本間弘樹君
書	記	葉廣照美君

---

## ◎開会の宣告

○委員長（氏家裕治君） ただいまより、広報広聴常任委員会を開催いたします。

（午前10時46分）

---

○委員長（氏家裕治君） きょうの皆さんにお配りしております議案につきましては議会懇談会の実施、結果、それからそれについての課題、それからそれを含めての意見・要望の取り扱いについて、この大きく三つについて皆さんのご意見をお伺いしたいと思います。前回、小委員会の中で今回こういったこの案件について議論した結果が資料2のほうに反省点、また総括について載っておりますのでどうぞそちらのほうも参照をしていただきながら皆さんのご意見をお伺いして今度の本会議での常任委員会としての報告にかえさせていただきたいと思っております。忌憚のないご意見をちょっとお伺いしながらまとめていきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いをいたします。まず開催結果については皆さんもご存じのとおり2日間、午後2回、夜1回の開催で81名の方々にお集まりいただくことができました。本当にありがとうございました。開催結果ということで昨年に引き続き、この2年間にわたって町内全域を議会懇談会という形の中で回させていただきました。昨年は89名、ことしが81名、2年間ではありますけれども約170名の方々にお集まりいただきいろいろなご意見をいただいたというのが開催結果でございます。ちなみに24年度の開催では53名の参加に終わったというのが前々年度の部分でございました。そういった内容についての反省点等々が次の（2）総括・反省点というところでございますけれども、小委員会での意見を次ページ、資料2に載せてありますのでそういったものを見ながら、また各会場で懇談された委員の皆様方のいろいろなご意見がもしあればお聞かせいただきたいと思います。いかがでしょうか。松田委員。

○委員（松田謙吾君） 議会に対する意見要望というのがありますね。何かきのうの新聞の報道によれば議員定数が決まったし、報酬もどうのこうのと出ていました。きのう新聞の報道で読んだのですが、この議会に対する意見・要望というところをこれも十分考えた上で、要は町民の意見ですね。これを十分取り入れた中でああいう形で決定したのかどうか。そういう議論が十分なされてああいう形で決定したのかどうかということを、この場で誰が答えるのですか。されたのかどうかということです。

○委員長（氏家裕治君） 松田委員の言われるその新聞報道でも出ました。多分議会運営委員会の中でいろいろ議論されてそういった方向性を導いたのだと思うのですが、これは今度の本会議の中で多分議論される。ここでちょっと議論する場面ではないと思うのですが、それについては議会運営委員会の中でお話を聞いていただいたほうがよろしいかと思うのですが、定数削減、また報酬の部分についても今回の懇談会の中でも出ていた部分であります。ですからこういった部分については今本会議で決まった内容についてはしっかり町民の方々に説明していくというか、報告をする義務はこの広報広聴常任委員会の中の一つの役割だと思っておりますので、それは

しっかり説明をしていきたいと思います。あらゆる場面を使って、広報それから各町内会会長さんですね。その部分についてはそういう形の中でちょっと。ほかに何かもしご意見があれば。もしないようでしたら、この反省点に至った小委員会での主な意見というか、こういったものを今回の議会懇談会での反省点としてまとめさせていただきたいと思いますがよろしいですか。西田委員。

**○委員（西田祐子君）** 小委員会でまとめられるということに、それに異議があるという話ではないのです。まとめるにあたって今回いろいろな意見が出て、前回はそうだったのですけれども各委員会で出された項目についてそれぞれの委員会でやってくださいという形できたのですけれども、もし今回まとめられるのだったら小委員会の中で今回は特に申し訳ないのですけれども、来年選挙ですね。9月で終わってしまうのですか。そういうことを考えるとここだけはぜひそれぞれの委員会でぜひ協議をしてやってもらいたいという部分を小委員会でまとめて出していただけるとすごくありがたいかと思うのです。切り口としてという意味です。それを全部という意味ではないです。これを何だかんだやれという意味ではなくて切り口としてもし小委員会の中でここはぜひやってほしいというものがあるのだったらまとめていただければありがたいかと思ったのですけれどもどうでしょうか。

**○委員長（氏家裕治君）** 今西田委員のほうからそういったご意見がありました。この皆さんにお配りした資料の次のほう、各常任委員会また議会運営委員会の中で議論していただくというか、お話を皆さんとしていただく分野別に分けた資料がございます。ここまでは我々広報広聴常任委員会、また今回懇談会を実施した内容をまとめさせていただきましたが各常任委員会また議会運営委員会の中で大体来年9月いっぱいまでできるところまで努力をしていただくということしか私たちのほうでは言えない部分だと思うのです。私たちがこれとこれはぜひやってくれという話ではないと思うのです。ですから各常任委員会中でこれは最優先としてやるべきだというものがもしあればそれはそれで各常任委員会ごとに取り組んでいただき、多分できないものも出てくると思います。できないものも出てくると思いますのでそういった部分については今後の運営、来年度をどうするのか、今までは改選期はやっていなかったのです。そういったこともちょっと後でちょっとお話をしようかと思ったのですけれども、改選期は今まで懇談会、報告会はやっていません。先にいってしましますがいいですかね。ただよくよく考えますと議員の個々の活動ではないのです、議会懇談会というのは。議会の懇談なのです。町民はそこにいる議員さんがどう代わろうが議会に対しての意見・要望を出してくるのではないかと私自身はそう考えるのです。ですから今後皆さんがどうその懇談会に対しての思い、そういったものを思っているかということも来年の開催も含めて時期がどうあるべきか、やはり改選期であるからやらないのかということも含めてちょっと皆さんとお話を進めさせていただく機会があれば年明けにでもそういった話をしていければと思います。ここで議論するにはちょっと余りにも時間が短すぎると思いますので、そういったことも含めて、私常任委員長としての立場として皆さんにそういったことも伺いする時間をつくっていただければと思いますので、頭の片隅にでもちょっと入れておいていただければと思います。今までは改選期はやっていません。先ほど西田委員の言われたその各常任委員会でいっていた部分、それは各常任委員会の

中で必要事項と思われる部分、ここだけは今期中にぜひともやっておかなければいけないという部分を先行してやるのであればそういった部分は各常任委員会の中でちょっと考えていただければと思いますので、私のほうからはそういった思いであります、皆さんどうでしょうか。各常任委員会、また議会運営委員会の中で重要事項という、その各委員会ことで議論していただくという形の中で、今までもそういう形でやっていたと思うのですが、小委員会のほうから例えば議会運営委員会に対してこれとこれは優先的にやってくださいみたいな話はなかったですね。各常任会に対してもそれはなかったと思いますのでちょっとご苦勞かもしれませんが、そこは各常任委員会の中で町民の思いをちょっと受けとめながら進めていただければと思います。よろしいですか。ちょっと話が長くなりましたけれども。西田委員どうでしょう。わかりました。各常任委員会、また議会運営委員会の中でその辺を議論していただくという形の中でよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（氏家裕治君） それではよろしく願いをいたします。ちょっと先にいってしまいました。反省点についてはどうでしょう。小西委員。

○委員（小西秀延君） 人数的にも形的にも今回やった形は評価できるかというふうに思っています。反省点の中でせつかくの懇談会ですので町民の要望を聞くという形だけではなくて、議会側からもこれまで行ってきた議会改革はどうなっているのか、議会の情報を懇談会の場でもきちんと情報伝達するような場でもございますので、お互いの懇談会ですのでそういう場所を考えてみてはかがかという点を載せておいていただければ今後議論になるかと思っておりますので、よろしく願います。

○委員長（氏家裕治君） 今小西委員から出たものというのは議会報告会的なものでしょうか。小西委員。

○委員（小西秀延君） 今回やっています懇談会の中でせつかく懇談会ですので、懇談会ですので要望を聞くだけなら要望を聞く何か政調会みたいな形のような気にもなってしまうので町民の方々も。議員側からも議会は今こういう改革をやっていますとか、これまでにこんな改革をしてきて今現状こうなっているのですという議会側からも情報発信をして、それについても懇談したほうがいいのではないかと私個人思っていたものですから、もし反省点に載せておいていただければそういう開催の仕方はどうだろうかということで議題にのぼるかと思ひまして提案させていただきました。

○委員長（氏家裕治君） わかりました。皆さんどうでしょう。吉田委員。

○委員（吉田和子君） 議会報告会となると予算のこととか、いろんな行政のことの説明も入ってきましたけれども、今回議運で議員定数とか報酬に対していろんな意見が出たときに町民の方々はわかっているようで、では定数は何名かわかっていますかといったらわかっていないとか、報酬が高いというのですけれども、いくらもらっているかわかりますかといったらわからないという、議会改革というのは何をやっているのか、通年議会というのは何かという感じのものが結構あります。だからそういった中で、そんな時間をかけるのではなくて、今こんな状況ですとか、そういつ

た議会のものを知っていただく時間を設けるのを私は必要ではないかというふうに思います。

○委員長（氏家裕治君） わかりました。どうしても広聴という形の中で今回こういう懇談会を開きますと町民側からのいろいろな意見を聞くということが主な場面になるものですから、そこに議会側からのそういった活動報告みたいなものがあると時間的なバランスがどうしても取れなくなってきたりする場面も出てくるものですから、私もそこについてはちょっと臆病になった部分もあるのですけれども、もし皆さんからそういったご意見があるとすれば今後のそういう議会懇談会の持ち方、そういったものについても今後の開催の一つの大きな課題として捉えていくべきだとそう考えます。ただそれをやるには開催側の我々議会議員の進め方というものも必要になってきますので、そこだけはやはり考えながらやっていかなければいけない問題だと思います。いずれにしても次回の懇談会の開催をどう持っていくかということは一つの大きな課題としてそれも捉えながら進めていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。皆さんそれでよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（氏家裕治君） ほかはどうでしょう。小委員会の中でも話し合われましたがやはり集まっていたいただいた町民の方々の全体を見ますと高齢者の方が多いと。若い人たちの意見をどう取り込むのかということが大きなこれからの課題になってくるでしょうし、これからの白老町を支えていく若い人たちの声、これをどう拾っていくのかということも大きな課題だと思いますが、一つの課題としては上げられていますけれども皆さんその辺についてはどうですか。共通した課題認識として捉えていただいて今後の開催のときにちょっと皆さんからそういったことも含めてご意見をいただきながら開催日程等々を決めていきたいと思っておりますが、そういった形でよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（氏家裕治君） もしそのほかになければこういった反省点について取りまとめをさせていただきますながら進めていきたいと思っておりますがよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（氏家裕治君） 括的なものも今皆さんとお話をしていく中で出てきていると思っておりますので、そういった形の中で今後の議会懇談会がどうあるべきなのかということも含めて今回総括としてまとめさせていただきたいと思っております。本日皆さんからいただいたご意見等々取りまとめまして、きょうはもう金曜日ですので月曜日の朝には皆さんの手元にこういった報告、今回の本会議で報告させていただきますのでそれでよろしいかどうか、その辺をちょっと含めまして朝一番ぐらいには皆さんのお手元に届くように内容的なものを見ていただきたいと思っておりますので、それでもし何かまたこれはちょっと違うのではないかということがあればご意見いただいて今回の報告にかえさせていただきますたいと思っておりますので、そういった流れでよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（氏家裕治君） それではそういう形を取らせていただきたいと思っております。あと意見・要望の取り扱いについても各常任委員会の方々、ひとつよろしく願いいたします。改選期ということもあって本当に短い期間の中でご議論をしていかなければいけないですけれども町民の方々もそ

ういった報告を心待ちにしていると思います。ちょっと私委員長のほうからお願いしたいことがあります。今回、各常任委員会の中でこういった取り扱いをすることになりましたというものがまとまりますので、これをどうでしょうか、今回の議会懇談会を開催するときに足を運んでいただいた各連合町内会の会長さんのところにいま一度こういう形の中で進めさせていただきますということで連合町内会の会館のほうに届けていただければ、本当により一層の関係性が保てるのではないのかと私個人考えるのですが、皆さんいかがでしょうか。ちょっと年末抱えてのお忙しい時期かと思いますが。委員会で取りまとめたものです。町からの回答が年内にまとまるかがちょっとわからないので年明けになるかもしれません。年明けになるかもしれませんがそういったことも踏まえて前回懇談会を実施した、お願いをした町内会長のところに足を運んでいただければと思っているのですが、その辺についてよろしいですか。またそれが今後の議会懇談会の開催にあたってのまた大きな力になっていくと思いますのでそういったことも含めていま一度ご協力いただければと思います。どうぞよろしくお願いたします。西田委員。

○委員（西田祐子君） そうしましたら二つの常任委員会、小西委員長どう思っているか知りませんが、それぞれの委員会でこういうことを取り組みますということがもし決まったらそれも一緒に載せたほうがいいのではないかと思います。

○委員長（氏家裕治君） この裏に出ている各常任委員会、議会運営委員会の取り組みはもう裏に出ているのです。振り分けをしているのです。西田委員。

○委員（西田祐子君） そうではなくて、ここの中で今後各委員会で特にこれとこれはやりますともし決まったものがあつたら、それも一緒に載せていただけるとありがたいかと思います。12月末か1月の初めなのでしょう。

○委員長（氏家裕治君） 1月のどのぐらいになるかわかりませんが行政の報告が出てきてからです。これについて各常任委員会の中で一度議論される時間をつくられるということですか。西田委員。

○委員（西田祐子君） 今月の12月議会で次期所管事務調査やるわけでしょう。こういうものを例えば取り組みますとかというようなことももし委員会で出ささせていただけるのなら1、2行程度かもしれませんけれども、それぞれ委員会の考え方みたいなものも載せさせてもらおうと、せっかく意見を出してくださった方々、行政ばかりではなくて議会としてこういうふうな形でこういうふうに取りまとめてくれて、なおかつそうやってくれるのかというのがわかりやすいかと。そうやって一言書いてくれるだけでもいいのだけれども。言っている意味わかりますか。

○委員長（氏家裕治君） 12月会議で例えば各常任委員会での所管事務調査を取り上げるその内容というかこういったことをやりますと、それが議会懇談会での内容に踏み込んでいるものであればそういったことを書いてくれということですか。どうですか皆さん、その辺については。私は西田委員の言っていることはよくわかるのです。今回各常任委員会で所管事務調査をとる、その所管事務調査が今回のこの議会懇談会での町民要望だとか、意見の中に踏み込むものであれば、それはこういう形でもって今回取り組ませていただきますということを各町内会長のところに足を運

ぶときにはそういう話もしたほうがいいのではないかということなのですね。そうですね。西田委員。

○委員（西田祐子君） 前日もやりましたね。だけれども実際には、それがせっかく意見を出してくださった町内会長さんのところにちゃんと議会として取り組みましたということには行っていないのです。せっかく取り組んだからどうのこうのというわけではないのですけれども、自分たちがせっかく言ったので、そうしたら議会がそれについてきちんと議論してくれた、委員会で取り上げてくれたということが大事だと私は思うのです。ただそれだけです。余り難しく考えないでほしいです。

○委員長（氏家裕治君） 例えば今回議会懇談会の中で町民からの意見・要望というのを受けましたね。これを皆さんにお知らせする場面というのは議会広報だとか、それからいろいろなそういう発信の場所というのがあるのだと思うのです。今西田委員の言われた各常任委員会での取り上げたことや何かも、その議会広報の中で町民の方々にお知らせする、そういったやり方もあると思いますので町内会長さんのところに足を運んでいただいてこういった取り組みをするという話はそこに今回での所管事務調査での取り組みのこともちょっと載せていくことがいいか悪いか、悪いことではないと思いますけれども、できるかできないかについてはちょっと皆さんとお話をさせていただきながら載せる載せないは多分来月になると思いますので、その辺はちょっと皆さんから。小西委員。

○委員（小西秀延君） ちなみに年明けに配るとなると、今総務文教は引き続き審議になるので総務文教のやつは載せられないのです。懇談会のテーマにちょっと合っていない、懇談会のテーマだけで所管を選ぶわけではないので、今までの流れでは。ちょっとうちは難しいかと今頭で考えていました。参考までに皆さんにお知りおきをいただきたいと思ひまして。

○委員長（氏家裕治君） そういった場面、場面で広報なら広報の中で町民の方々にお知らせする場面をつくっていければそれはそれでいいかと思ひますので、今回は町内会長さんのところに足を運んでいただく資料としては今回の取りまとめ、各常任委員会での取り扱い、これを改選期まで、私たちの任期中に取り上げていきたいという旨の話でちょっと押さえていただければと思ひます。今西田委員が言われたことについては、例えば議会、常任委員会の中で取り組んでそういった結果が出たものについては議会広報の中でしっかり取り上げながら町民の方々一人一人に届けていけるような形をしていきたいと思ひますので、そういう形を取らせていただければと思ひしておりますが、それでよろしいですか。西田委員。

○委員（西田祐子君） 町民からいただいた懇談会の中で意見が出たので委員会として取り組んだということがきちんとわからないとせっかく言ってくださった方に申しわけないと思ひたのでそう言っただけです。

○委員長（氏家裕治君） そういった部分については議会広報のあり方も含めて今後町民の方への報告のあり方についてはしっかり取り上げていきたいと思ひますので、その方了承していただければと思ひます。それではよろしいですか。こういった形の中で懇談会を実施させていただきました。2年間にわたって本当に皆様方のご協力でこういった結果をまず残すことができたということが私

は大きな意義があったのではないかと思います。ただ2年間にわたってやるということはタイムリーな話題について情報共有ができない、いろいろなデメリットもありましたけれども、これを今回の反省点の中にもありますが、1日間開催日程をふやすことによって全町を回ることもできることもあるのだということも今後の開催の一つの課題として捉えながら進め方も皆さんと今後また考えて実施していければと考えておりますので、どうぞそのときにはまたご協力のほどよろしくお願ひしたいと思います。

---

### ◎閉会の宣告

○委員長（氏家裕治君） それでは本日の広報広聴常任委員会、これで終了したいと思います。ありがとうございました。

（午前11時13分）